

令和8年度ごみ減量実践事業企画運営業務 企画競争評価基準等

1 本書の目的

本書は、「令和8年度ごみ減量実践事業企画運営業務」（以下、「本業務」という。）に係る公募型企画競争における契約候補者を選定するための評価基準及びその他必要な事項について定めるものである。

2 審査・評価の実施主体

本業務に係る企画提案書の審査・評価は、本市が設置する「令和8年度ごみ減量実践事業企画運営業務に係る企画競争実施委員会」（以下、「実施委員会」という。）において行う。

3 審査方法

委員は、「令和8年度ごみ実践事業企画運営業務 提案説明書」、「令和8年度ごみ減量実践事業企画運営業務 仕様書」及び本企画競争評価基準に基づき、企画提案書の内容を審査し、採点を行う。

委員は企画提案ごとに採点し、各委員の評価点の合計が6割以上かつ最も高い者を契約候補者とする。

4 審査手順

(1) 一次（書類）審査

企画提案書等の提出された書類のみで評価を行い、ヒアリング審査への参加者を5者程度選考する。審査は別添「評価基準表」により評価を行う。

企画提案者が少数の場合は、実施委員会委員長の決定により、一次審査を省略する場合がある。省略する場合には、別途企画提案者全員に連絡する。

(2) 二次（ヒアリング）審査

企画提案者によるプレゼンテーション及び企画提案者に対するヒアリングを実施後、その内容を踏まえ、企画提案書等の評価を行う。

(3) 契約候補者の選定

上記(2)の評価に基づき、契約候補者を選定する。

5 採点の方法

委員は、提案に対し別添「評価基準表」により、各項目についてA～Eの5段階評価により採点する。

	20点満点	10点満点	5点満点
A（特に優れている）	20点	10点	5点
B（優れている）	16点	8点	4点
C（普通）	12点	6点	3点
D（やや不十分）	8点	4点	2点
E（不十分）	4点	2点	1点

6 最高得点者が複数となった場合（同点の場合）

契約候補者となるべき最高得点を得た者が複数あるときは、評価項目4，5，6の合計得点が高い方を上位とする。

なお、これによっても優劣がつかない場合は、実施委員会での協議により契約候補者を選考する。

7 企画提案書の提出が1者からのみであった場合

各委員の評価点の平均が6割以上の場合には契約候補者として選定する。

8 失格となる場合

以下の場合、企画内容を問わず失格とし、以降の評価・採点を行わない。

- (1) 企画提案提出者が告示書及び提案説明書に記載された参加資格の要件を満たしていない場合
- (2) 見積書に記載した金額が、本市の設定する金額を超えた場合
- (3) 実施委員会において不適切と認められた場合

【別添】評価基準表

評価項目		評価の視点	関連仕様書項目	配点
1	企画全般	本業務の背景・目的を十分に理解した提案となっているか。 また、企画全体において、企画提案の条件が満たされており、効率的な事業計画及び企画・運営が提案されているか。	全般	10
2	多数の市民が参加可能な企画	来場者や人流の多い施設・イベントスペース等、イベントへの参加者が多く見込める会場・日程を設定しているか。	4(3) ア、イ	5
3	事業者と連携した企画	リユース事業に関する十分な実績や専門的なノウハウを有し、本事業において適切なリユース体験を提供できる事業者を連携先としているか。	4(3) ウ	10
4	リユース非・低利用層の実践・行動変容につながる企画	物理的・心理的なハードルにより、リユースを利用しない層（低頻度の利用含む）に対して、そのハードルを解消・緩和することで、実際のリユース行動に繋がられるような企画内容となっているか。また、今後の継続利用を促す工夫があるか。	4(3) エ	20
5	リユースの可能性・気づきをあたえる企画	まだ使用できるが価値が付きづらい物や、自宅に長期間保管されがちな物なども含め、様々なジャンルの物にリユースの可能性があると「気づき」を与え、日常生活の中でのリユースの選択肢を広げるような企画内容が提案されているか。	4(3) オ	20
6	周知・広報方法	イベントへの確実な集客につながる効果的な内容・手法であるとともに、イベント不参加の市民に対しても広く情報を届け、行動変容を促すなどの波及効果が見込める情報発信の提案がなされているか。	4 (6)(8)	20
7	既存コンテンツの活用	ポータルサイト、札幌市ごみ分別アプリ等の既存コンテンツの普及や利用の促進を行い、継続的に市民に利用してもらえるような内容が提案されているか。	4 (7)	5
8	実現性	ごみ減量・波及効果の計上について、実現性や算定根拠の適正さは十分か。	4 (1)(2)(5)	5
9		スケジュールや経費の積算、業務実施に十分な体制（人員、連絡体制等）において、実現性は十分に確保されているか。	全般	5
合計				100

【採点基準】

	20点満点	10点満点	5点満点
A（特に優れている）	20点	10点	5点
B（優れている）	16点	8点	4点
C（普通）	12点	6点	3点
D（やや不十分）	8点	4点	2点
E（不十分）	4点	2点	1点